

稲沢市へのIターンに関するアンケート調査（ネットリサーチ）

（1）調査概要

本調査は、稲沢市に居住する可能性のある人材像を明らかにするとともに、移住を選択する条件を把握するために実施する。

調査実施にあたり、稲沢市への転入者ターゲットとして以下の5つのタイプを仮説設定し、こうした条件に該当する人を中心とした居住地の選定条件を把握するための聞き取りを実施した。

□タイプ1：名古屋市及びその周辺地域への通勤者の持ち家所有地として稲沢市を選定

- ・ 主に家計を支える人の勤務地が名古屋市等
- ・ 現在の居住地が愛知県名古屋市もしくは尾張地域、岐阜県岐阜地域・西濃地域

□タイプ2：稲沢市等の通勤者の居住地として稲沢市を選定

- ・ 主に家計を支える人の勤務地が稲沢市等の尾張地域
- ・ 現在の居住地が愛知県名古屋市もしくは尾張地域、岐阜県岐阜地域・西濃地域

□タイプ3：岐阜県在住者が移住先として選定

- ・ 現在の居住地が岐阜県（岐阜地域、西濃地域）
- ・ 主に家計を支える人の勤務地が愛知県名古屋市もしくは尾張地域（知多地区を除く）、岐阜県岐阜地域・西濃地域

□タイプ4：首都圏在住者が地方移住先として選定

- ・ 現在の居住地が首都圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）

□タイプ5：首都圏在住の新規就農希望者が移住先として選定

- ・ 現在の居住地が首都圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）

調査の概要は下表のとおり。

なお、将来の移住を希望する人は限定的であるとともに、転入のための政策を特段講じていない稲沢市を具体的な移住先として想定できる割合は極めて僅かになると考えられる。そこで本調査ではインターネットリサーチを活用して、予め移住する可能性のある人に絞り込むことで、移住政策の検討に必要なデータの効果的な収集を試みた。

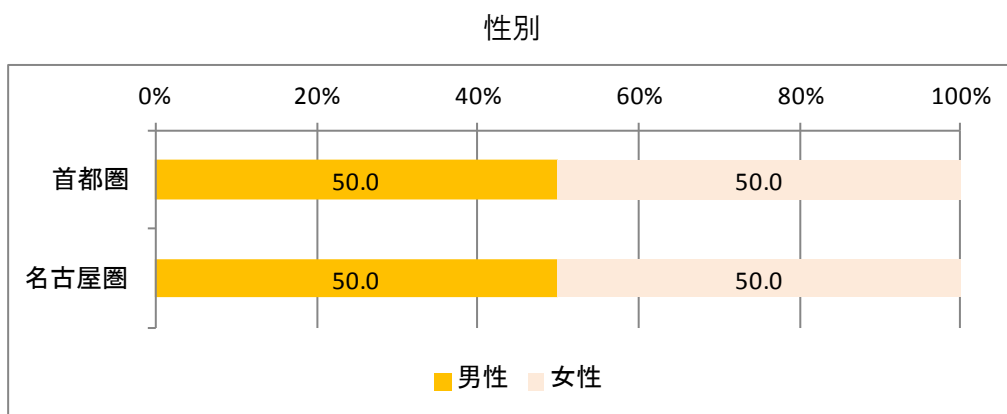
Iターンに関するアンケート調査の概要

調査目的	市外在住者における地方移住あるいは稲沢市へのIターン（首都圏などから稲沢市への移住）の可能性や希望条件などの把握
調査対象	<input type="checkbox"/> 稲沢市への転入が期待される 20 歳以上の方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛知県尾張地域の在住・在勤者（ただし稲沢市在住者は除く） 250 人 ・ 首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の在住者 250 人
主な調査項目	<input type="checkbox"/> 住み替えに対する希望や条件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住み替え（セカンドハウスも含む）意向を有している理由 ・ 住み替えを希望する地域 ・ 住み替えを希望する場所や条件 ・ 住み替え後の仕事 <input type="checkbox"/> 稲沢市の認知度と居住の可能性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 稲沢市及びその周辺都市の認知状況 ・ 稲沢市の資源に関する認知状況 ・ 稲沢市で魅力を感じる地域特性 ・ 稲沢市での居住に対する興味
調査方法	ネットリサーチ
対象者の抽出方法	会員制ネットリサーチ企業の登録者の属性データを基に回答候補者を抽出。その後、一次（スクリーニング）調査を行い、住み替え意向のある人を調査対象者として選定
調査期間	9月3日～4日：一次（スクリーニング）調査 9月4日～5日：本調査
回答者数	516人（首都圏 258人、名古屋圏 258人）
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネットリサーチは、目標回収数に達するまで調査依頼及び回答の回収を行うため、有効回答率の概念がない。 ・ 設問文末の記号について、「SA」は単回答、「MA」は複数回答、「NA」は数値記述、「FA」は自由記述となる。 ・ グラフ下の「n=○」は該当する回答数を示す。 ・ 回答の集計は、選択肢の回答数を総回答数で除したものを%表記しているが、小数第2位を四捨五入しているため、各回答の合計が100%とならない場合がある。 ・ 標本誤差：4.3%（信頼度95%）

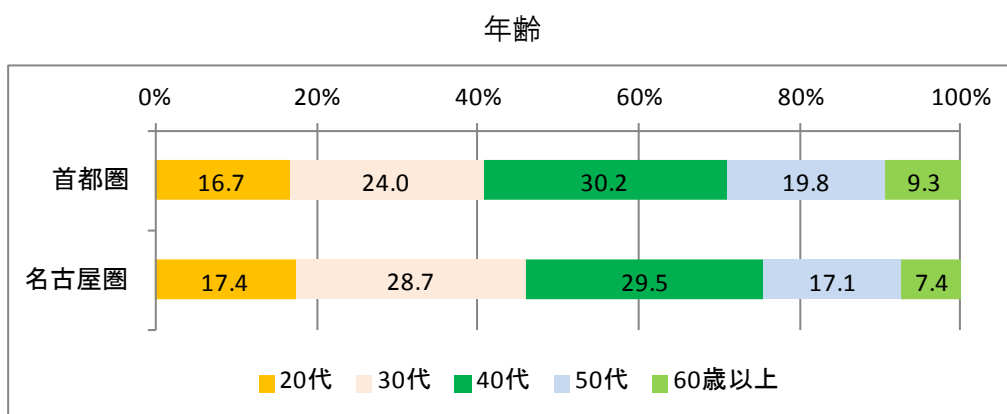
(2) 調査結果

①回答者属性

本調査の回答者属性は以下のとおり。ただし、ネットリサーチ会社に予め登録されている情報であるため、実態と若干の差異が生じている可能性がある。

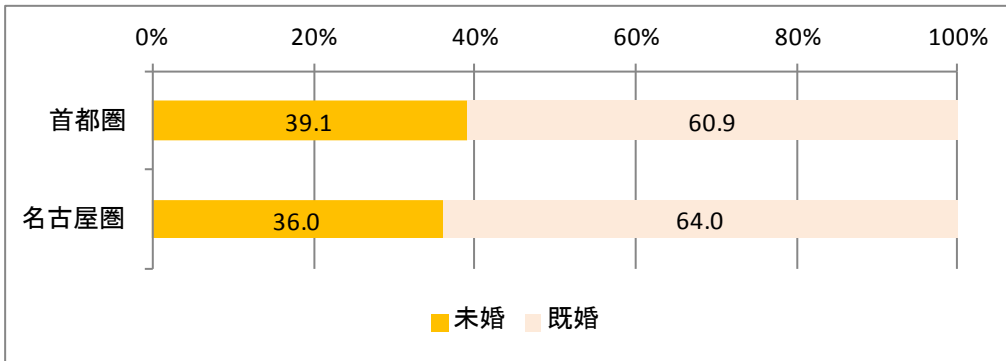


(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)



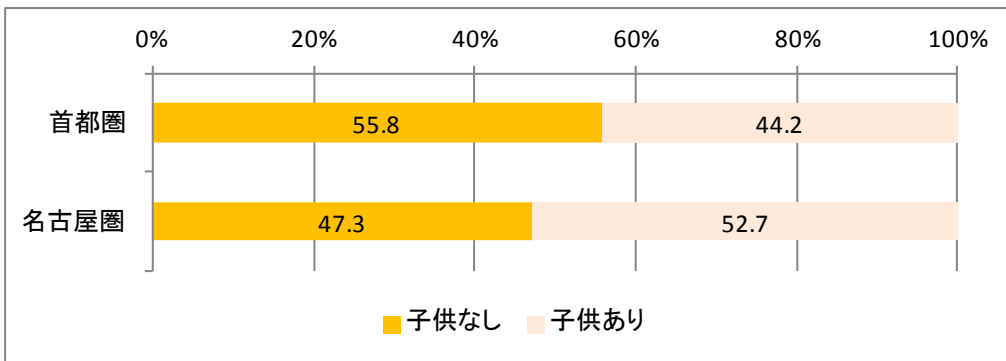
(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

結婚の有無



(首都圏 : n=258、名古屋圏 : n=258)

子供の有無

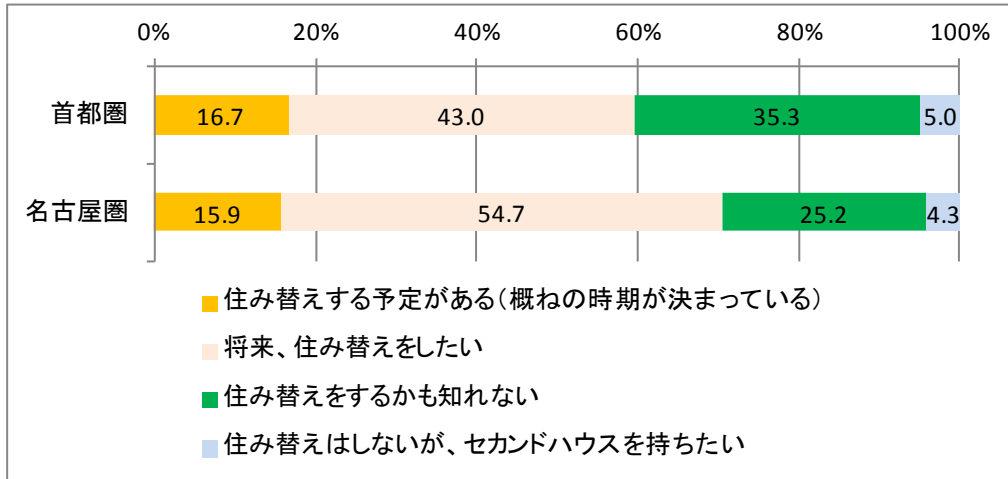


(首都圏 : n=258、名古屋圏 : n=258)

②一次調査（スクリーニング調査）結果 ※住み替え意向を有する回答者の回答結果

Q1 現在、暮らしている住宅から住み替えすることについて、どのように考えますか。(SA)

住み替え意向のある人について、首都圏と名古屋圏ともに、「住み替えする予定がある（概ねの時期が決まっている）」割合は16%前後であり、実施を前提とした人は必ずしも多くない。



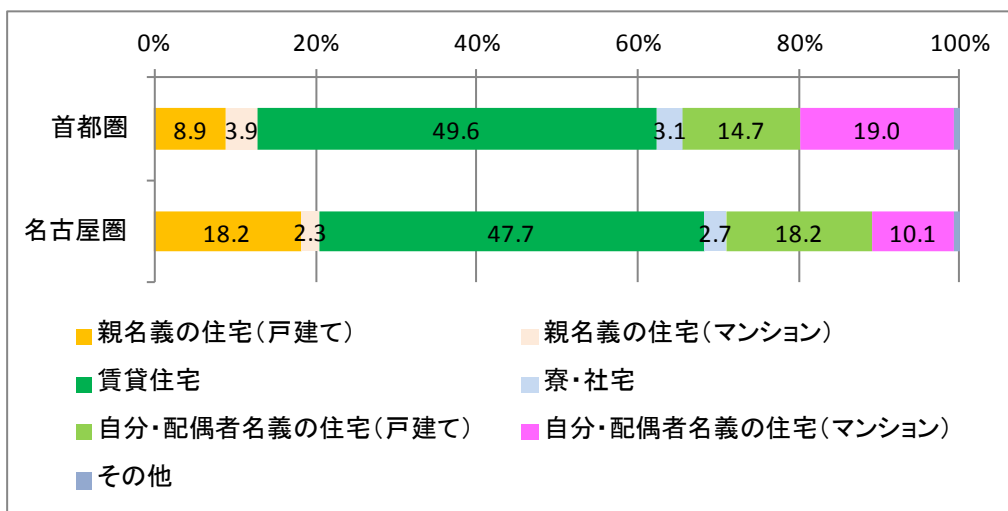
(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

Q2 あなたの現在の住まいについて選んでください。(SA)

住み替え意向のある人について、首都圏と名古屋圏でともに「賃貸住宅」が約5割を占める。

首都圏では、「自分・配偶者名義の住宅（戸建て）（19.0%）」と「自分・配偶者名義の住宅（戸建て）（14.7%）」を合わせると3割以上となり、持ち家所有者にも、住み替え意向を有する人のあることがうかがえる。

一方、名古屋圏では、「親名義の住宅（18.2%）」も約2割あり、世帯分離による住み替えを希望する人が首都圏に比べて多いことがわかる。

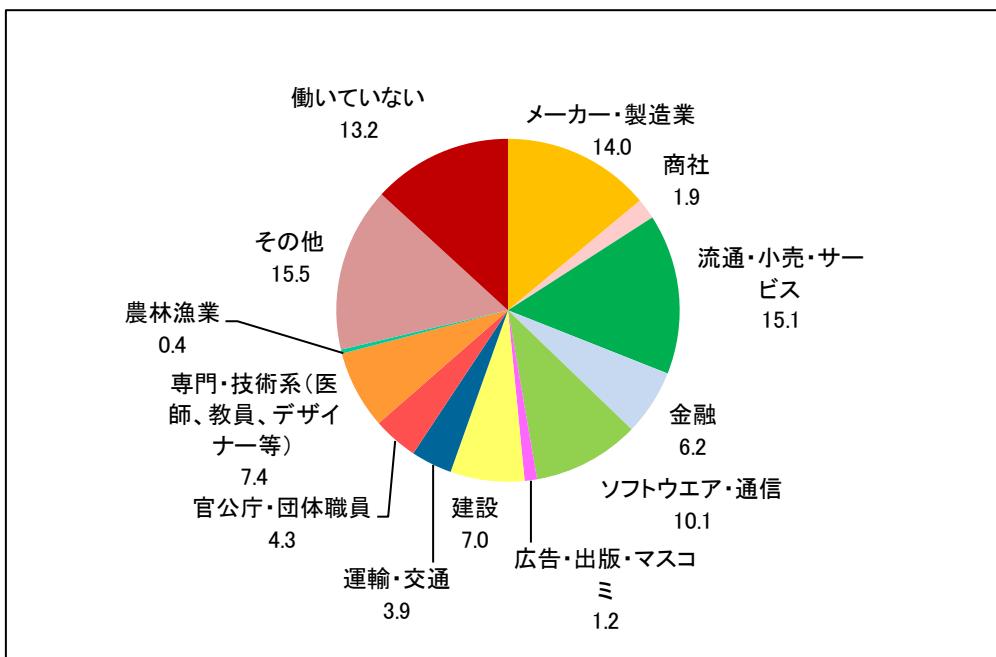


(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

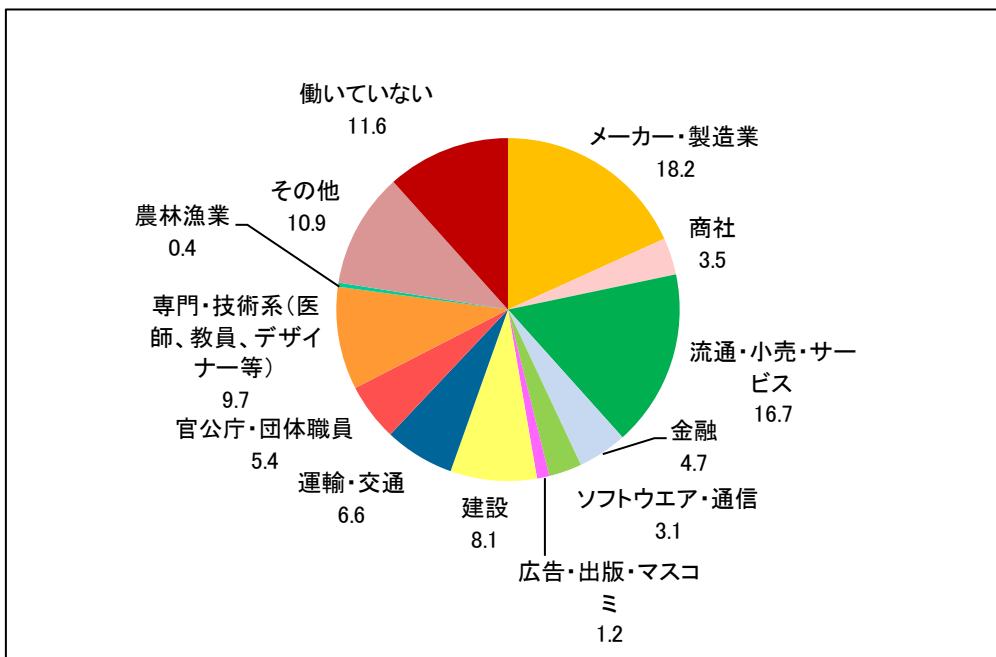
Q3 あなたもしくは配偶者のうち、主に家計を支える人は、どのような職業に就いていますか。
(SA)

首都圏と名古屋圏で大きな差異は見られないが、首都圏では「ソフトウェア・通信 (10.1%)」が名古屋圏よりも多く、名古屋圏では「メーカー・製造業 (18.2%)」がやや多くなっている。

【首都圏】



【名古屋圏】

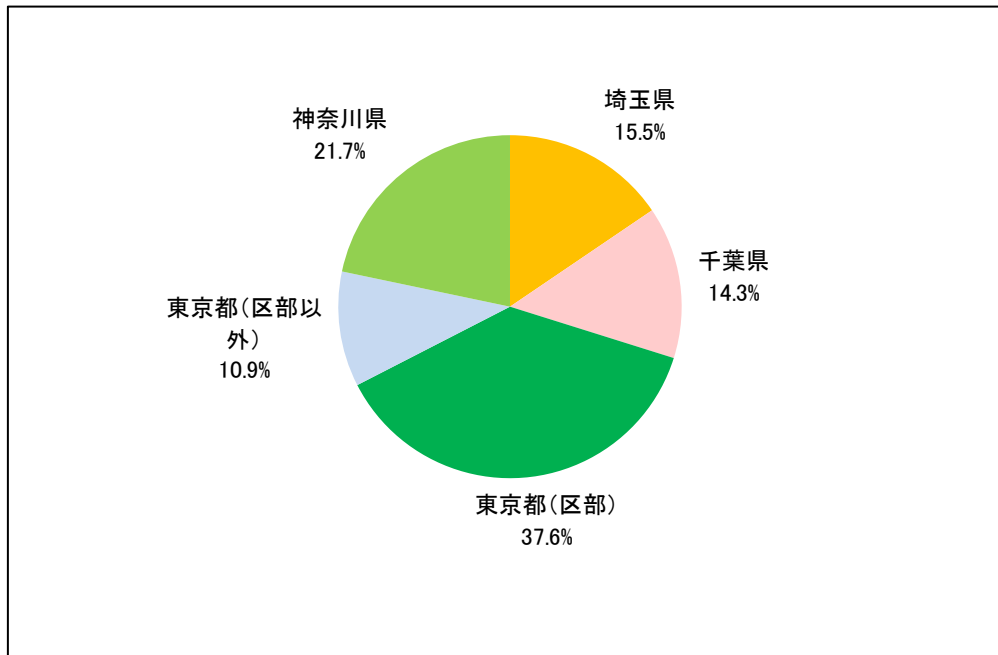


(首都圏 : n=258、名古屋圏 : n=258)

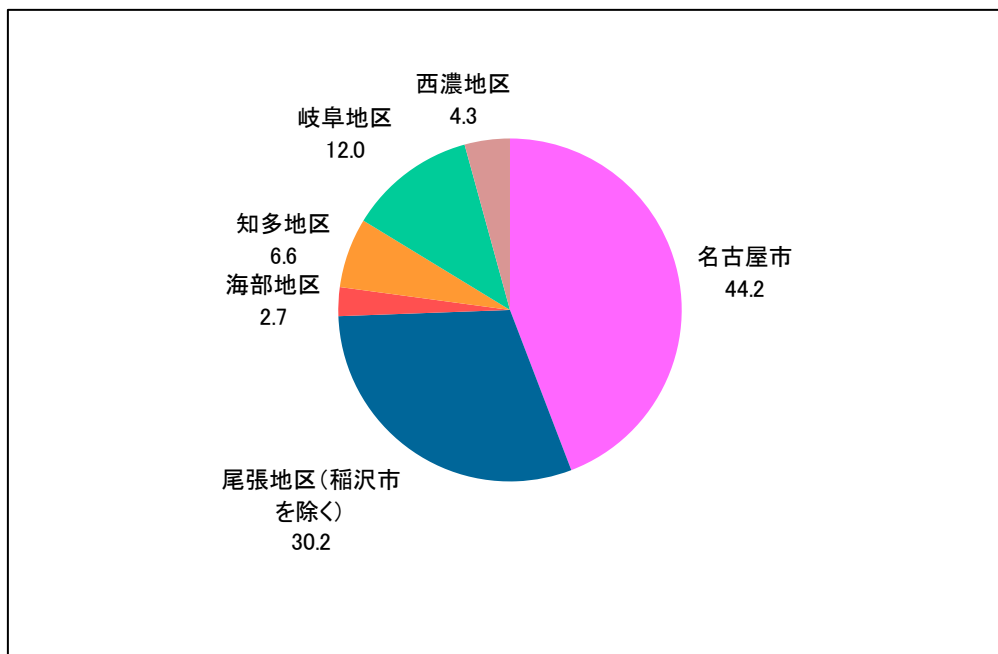
Q4 あなたの現在の居住地について選んでください。(SA)

首都圏では、「東京都（区部）」が37.6%で最も多く、次いで、「神奈川県（21.7%）」が多い。
名古屋圏では、「名古屋市」が44.2%で、「尾張地区（稲沢市を除く）（30.2%）」を合わせると7割以上を占める。

【首都圏】



【名古屋圏】



(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

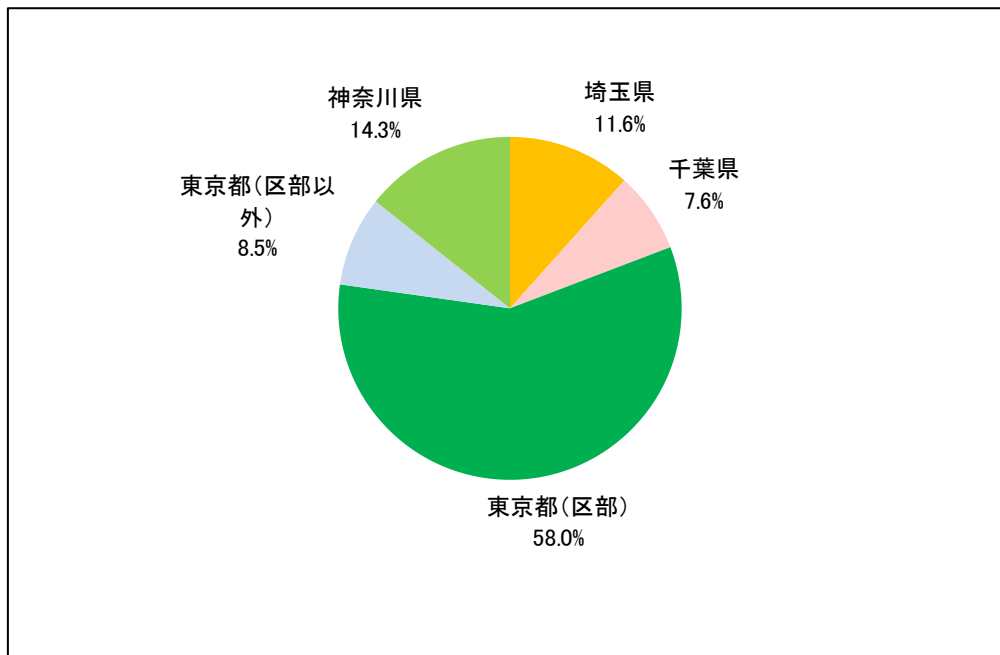
【回答者限定設問】 Q3 で「働いていない」を選択した人を除く

Q5 あなたもしくは配偶者のうち、主に家計を支える人の現在の勤務地について選んでください。
(SA)

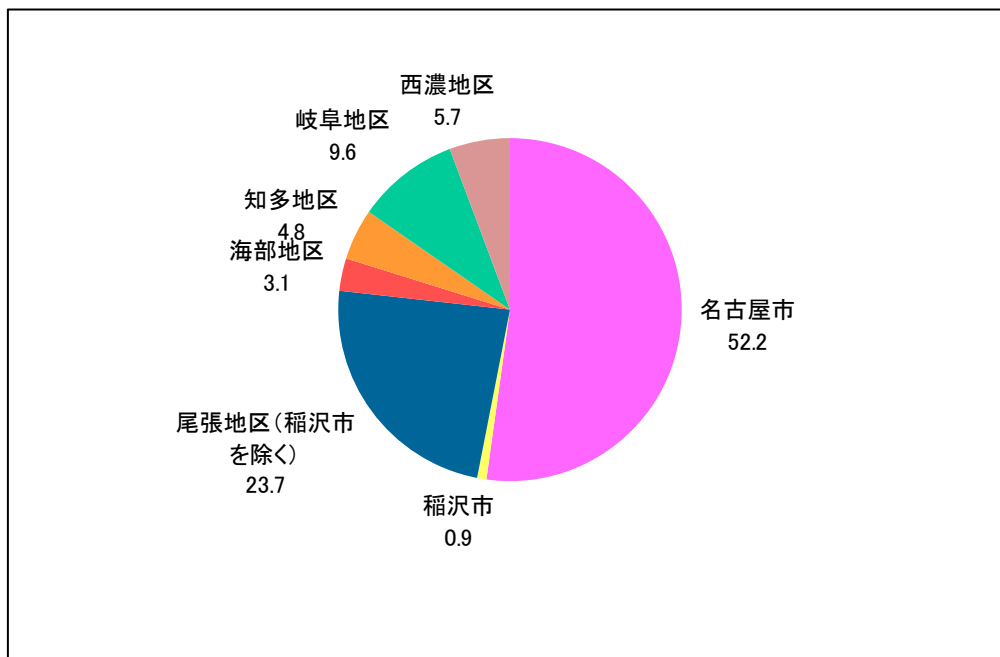
首都圏では、「東京都（区部）（58.0%）」が 6 割近くを占め、居住地における割合を 20 ポイント以上上回っており、職場と居住地が離れていることがうかがえる。

名古屋圏では、「名古屋市」が 52.2%で、居住地における割合を 8.0 ポイント上回るにとどまる。しかし、「尾張地区（稲沢市を除く）」を合わせると、居住地における割合とほぼ同じになる。

【首都圏】



【名古屋圏】



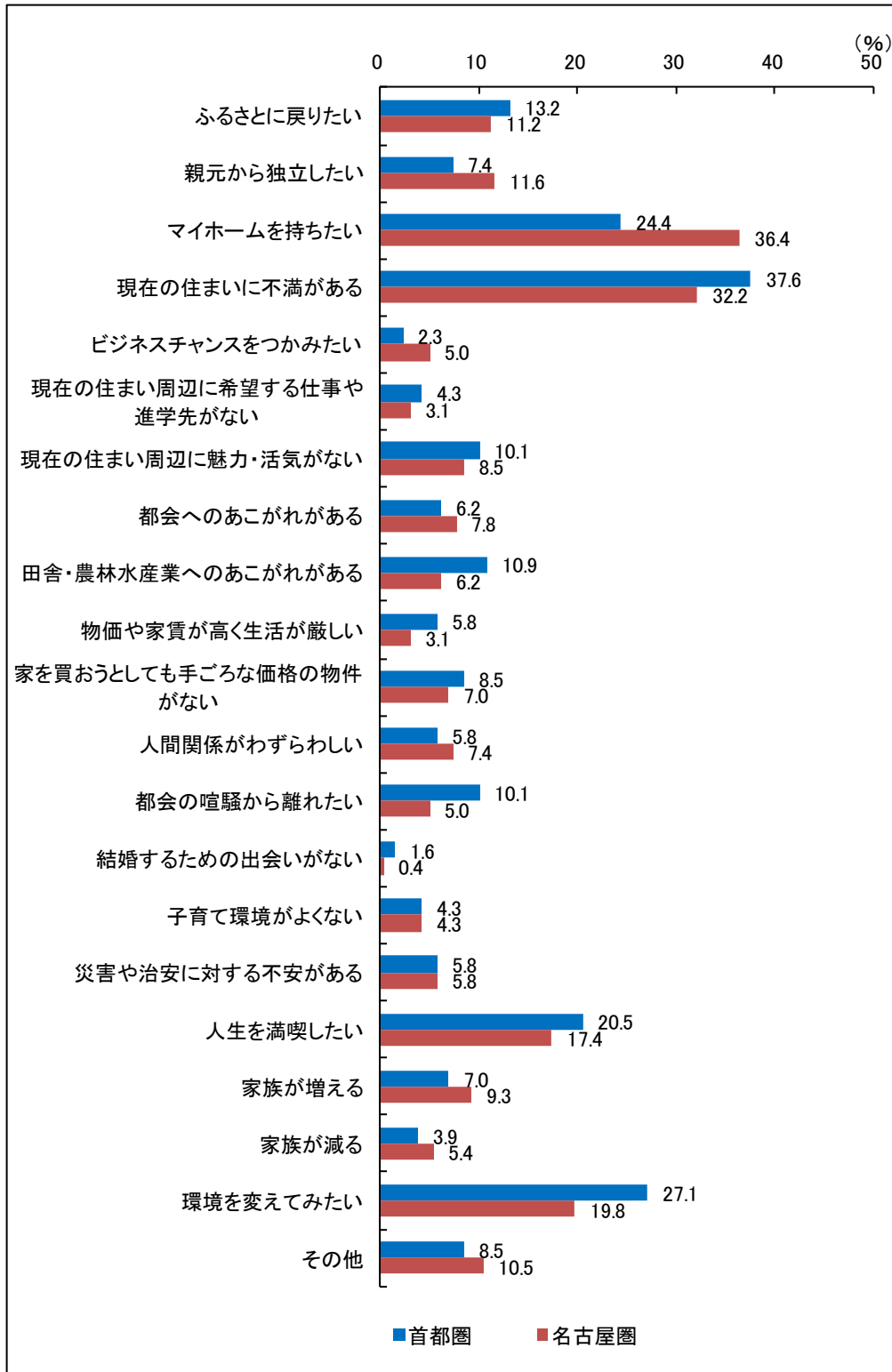
(首都圏：n=224、名古屋圏：n=228)

③本調査の回答結果

問1 あなたが住み替え（セカンドハウスも含む）を考えた理由について選んでください。（MA：当てはまるものを全て）

首都圏では、「現在の住まいに不満がある（37.6%）」が最も多く、「環境を変えてみたい（27.1%）」、「マイホームを持ちたい（24.4%）」の順となる。

名古屋圏では、「マイホームを持ちたい」が36.4%で最も多く、首都圏に比べて10ポイント以上上回る。次いで、「現在の住まいに不満がある（32.2%）」、「環境を変えてみたい（19.8%）」となり、上位3項目は首都圏と一致するものの、持ち家取得が住み替えの大きな理由となっていることがうかがえる。

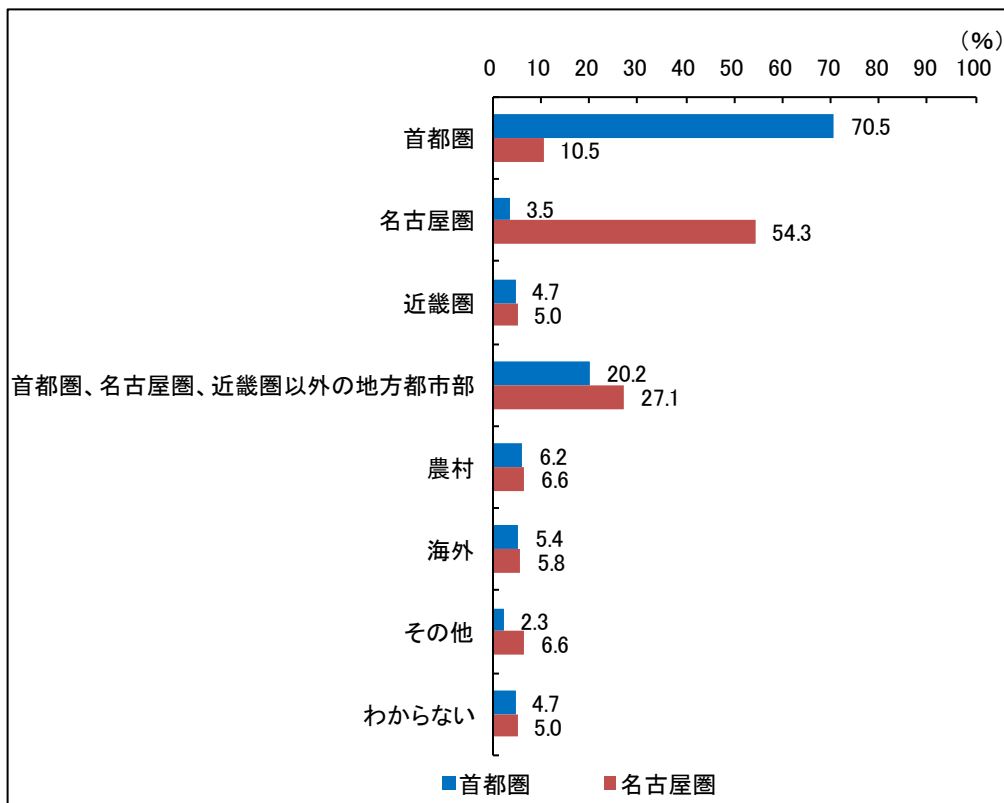


(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

問2 住み替えする場合（セカンドハウスも含む）、どのような圏域に住むことを希望しますか。希望度の高い順に2つまでお選びください。（MA：2つまで）

首都圏と名古屋圏ともに、居住地と同じ圏域を選択する割合が突出して多いものの、「首都圏、名古屋圏、近畿圏以外の地方都市部」について、それぞれ20.1%、27.1%あり、地方への移住に対する一定のニーズはある。また、「農村」はともに6%台となった。

名古屋圏で「首都圏」を選択した割合が10.5%となる一方、首都圏で「名古屋圏」を選択した割合は3.5%にとどまり、東京一極集中に繋がる居住意向のあることがうかがえるとともに、「名古屋圏」を特定した首都圏からの移住ニーズは少ない。

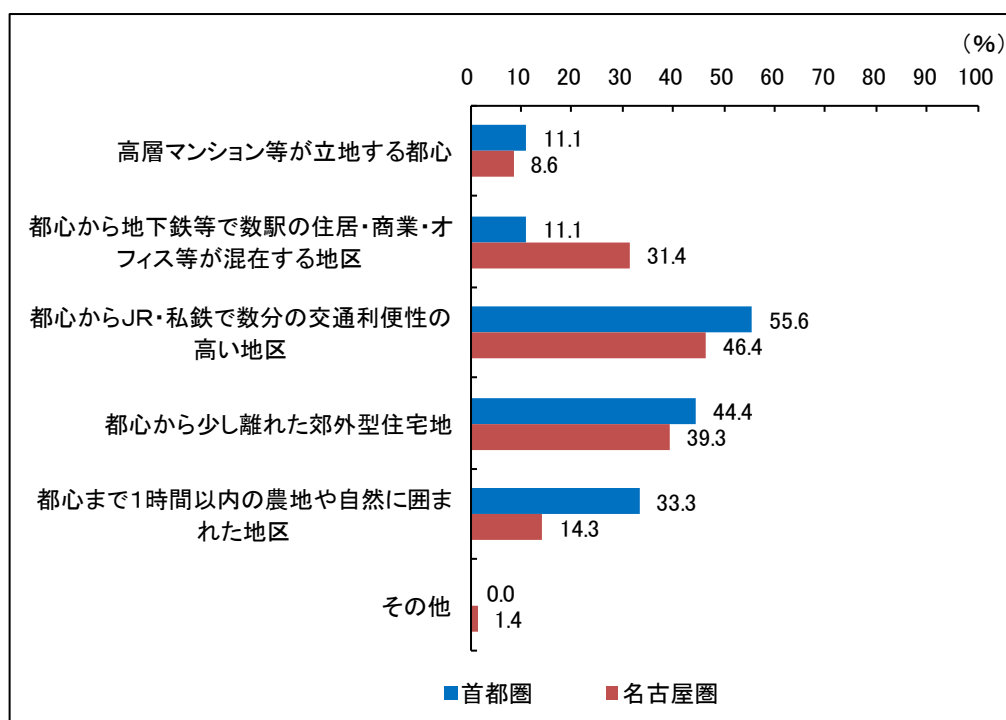


(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

【回答者限定設問】 問2で「名古屋圏」を選択した人のみ

問3 住み替えする場合、どのような地区に住むことを希望しますか。希望度の高い順に2つまでお選びください。(MA：2つまで)

首都圏と名古屋圏ともに、「都心からJR・私鉄で数分の交通利便性の高い地区」が最も多く、「都心から少し離れた郊外型住宅地」が続く。次いで、首都圏では、「都心から地下鉄等で数駅の住居・商業・オフィス等が混在する地区（31.4%）」であるのに対し、名古屋圏では、「都心から少し離れた郊外型住宅地（31.4%）」となり、首都圏は件数は非常に少ないものの、名古屋圏に比べて郊外に居住する傾向にあることが読み取れる。

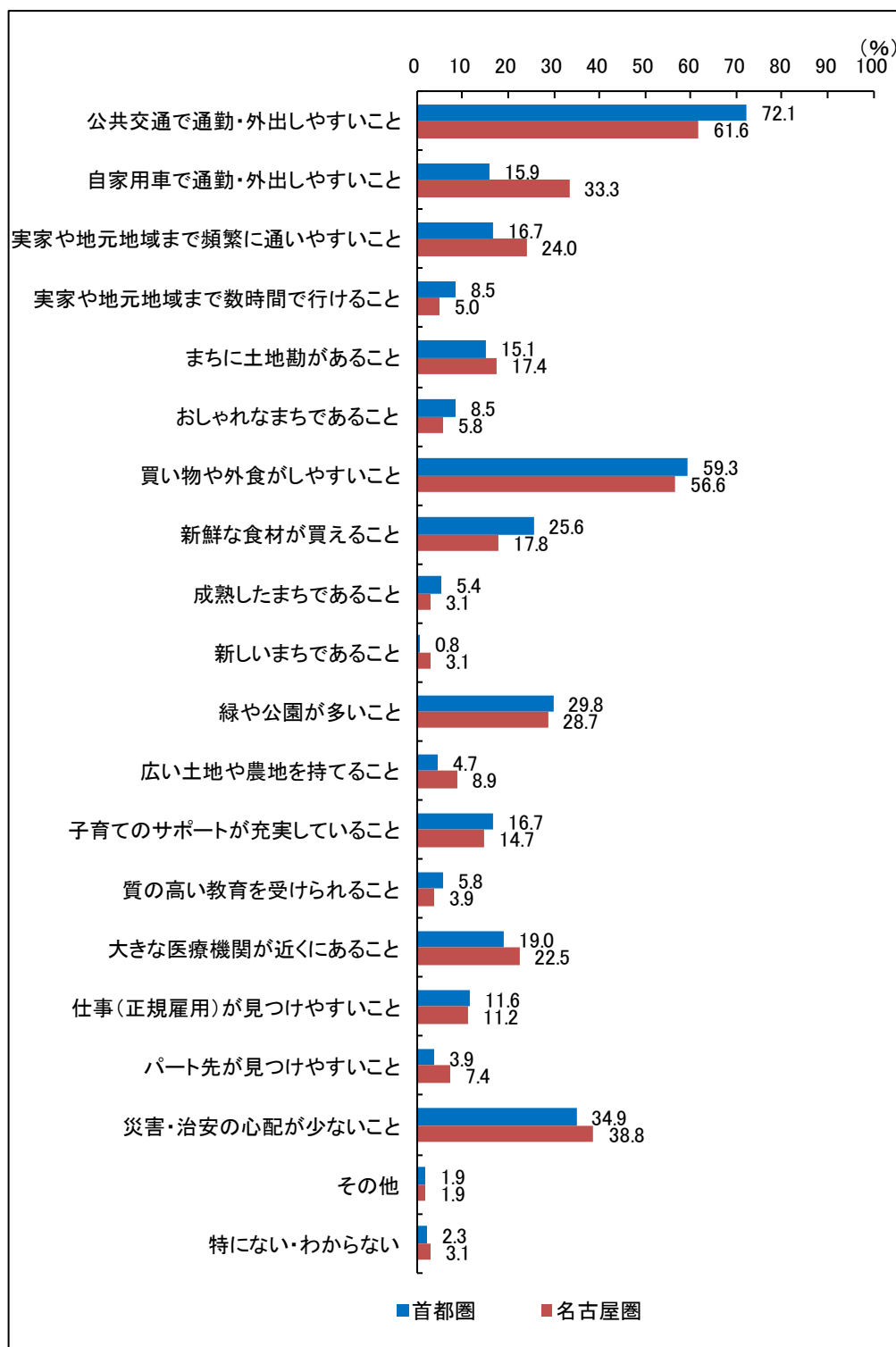


(首都圏：n=9、名古屋圏：n=140)

問4 住み替え場所を選択する際に、重要と考える条件はありますか。重要度の高い順に5つまでお選びください。(MA：5つまで)

首都圏と名古屋圏ともに、「公共交通で通勤・外出しやすいこと」及び「買い物や外食がしやすいこと」が過半数を超えて突出しており、「災害・治安の心配が少ないこと」が続く。

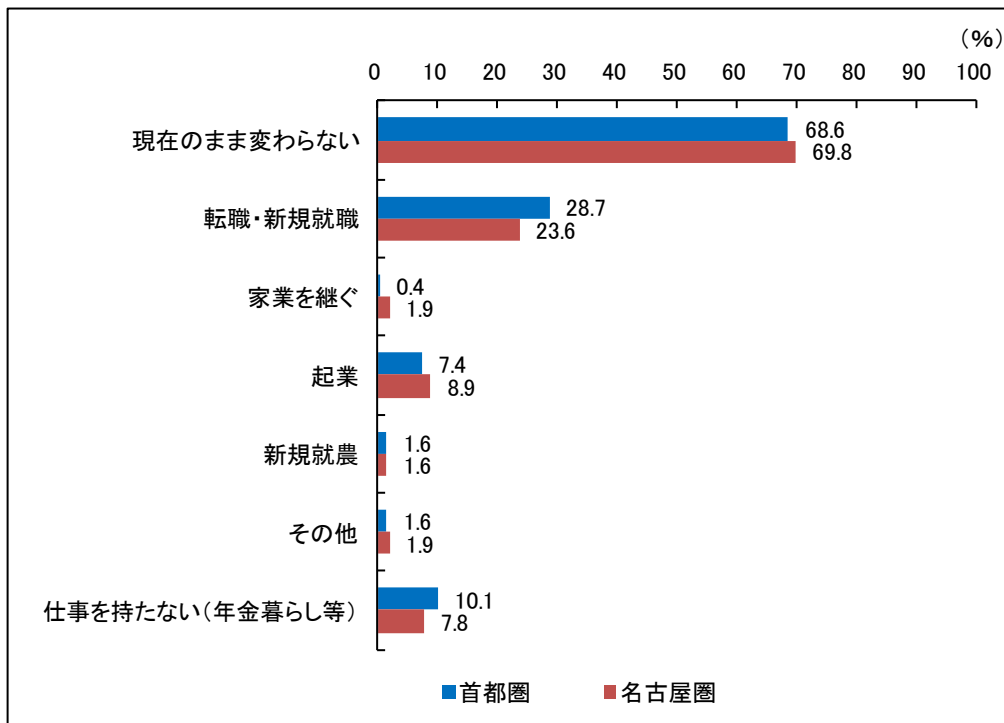
名古屋圏では、「自家用車で通勤・外出しやすいこと(33.3%)」や「実家や地元地域まで数時間で行けること(24.0%)」が首都圏に比べて多く、クルマ社会や近居が当地域の特徴となっている。



(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

問5 住み替えするときに、家計を支える人の仕事はどのようにしたいと考えますか。希望度の高い順に2つまでお選びください。(MA:2つまで)

仕事については、首都圏と名古屋圏ともに、「現在のまま変わらない」が約7割を占める。これは、住み替え先について、居住地と同じ圏域を選択する割合が高いことが大きな理由のひとつと考えられる。



(首都圏 : n=258、名古屋圏 : n=258)

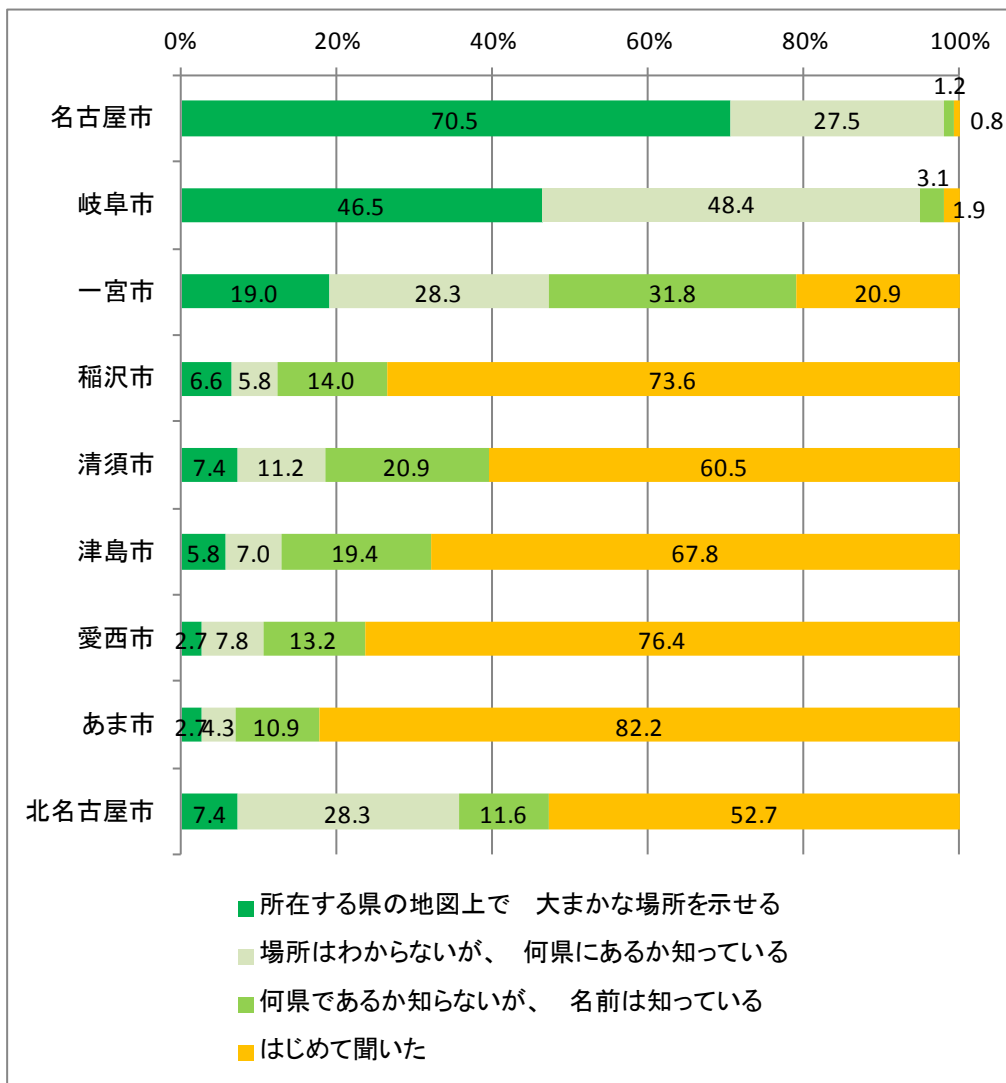
問6 次の都市について知っていますか。(SA)

回答のうち「はじめて聞いた」を除いた稲沢市の認知度は、首都圏で26.4%であり、名古屋圏の98.4%を大きく下回る。特に、愛知県にあることを知っている割合は12.4%に過ぎない。

首都圏における認知度を周辺市町村と比較すると、稲沢市は平成の市町村合併により新市名で誕生した愛西市(23.7%)やあま市(17.9%)を上回るものの、清須市(39.5%)や北名古屋市(47.3%)を下回り、下位に位置する。

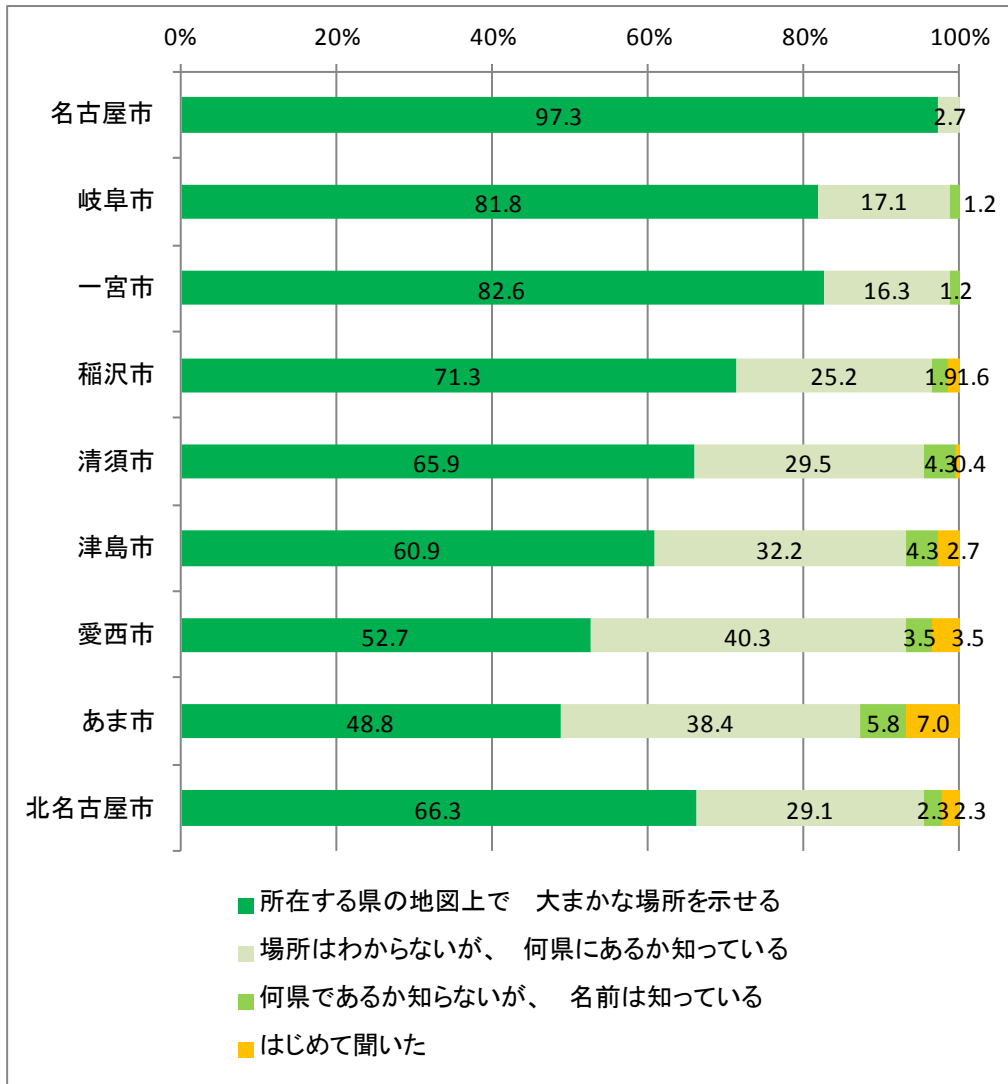
一方、名古屋圏では、「所在する県の地図上で 大まかな場所を示せる」とした割合が71.3%となり、中核的な都市である岐阜市や一宮市に匹敵する水準にあり、地元での認知度は高いと言える。

【首都圏】



(n=258)

【名古屋圏】



(n=258)

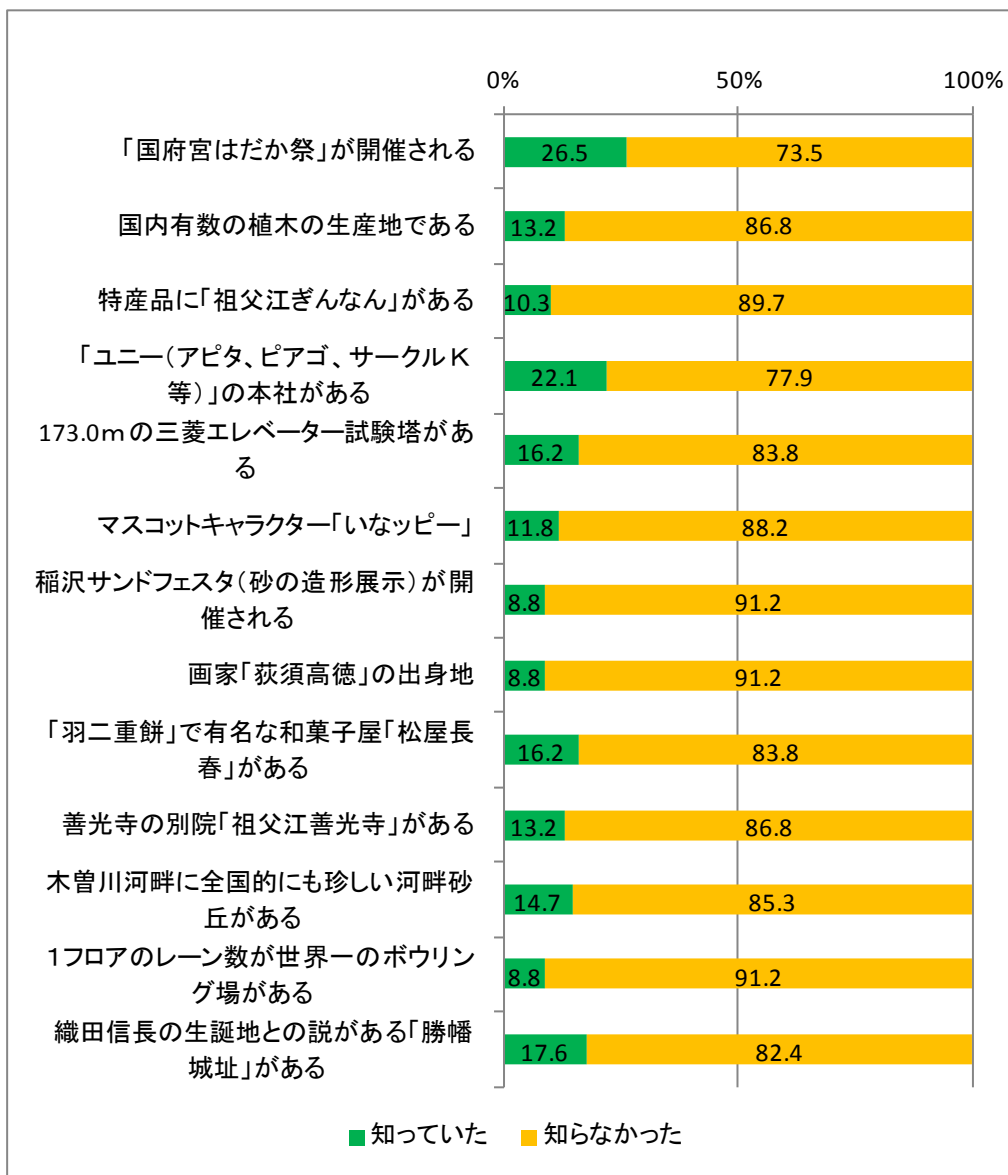
【回答者限定設問】 問6で「はじめて聞いた」人を除く。

問7 稲沢市について知っているもの、知らないものを選んでください。(SA)

首都圏では、「『国府宮はだか祭』が開催される (26.5%)」が最も高く、次いで「『ユニー (アピタ、ピアゴ、サークルK等)』の本社がある (22.1%)」となるが、いずれも 20%台であり、認知度の高い地域資源は見られない。

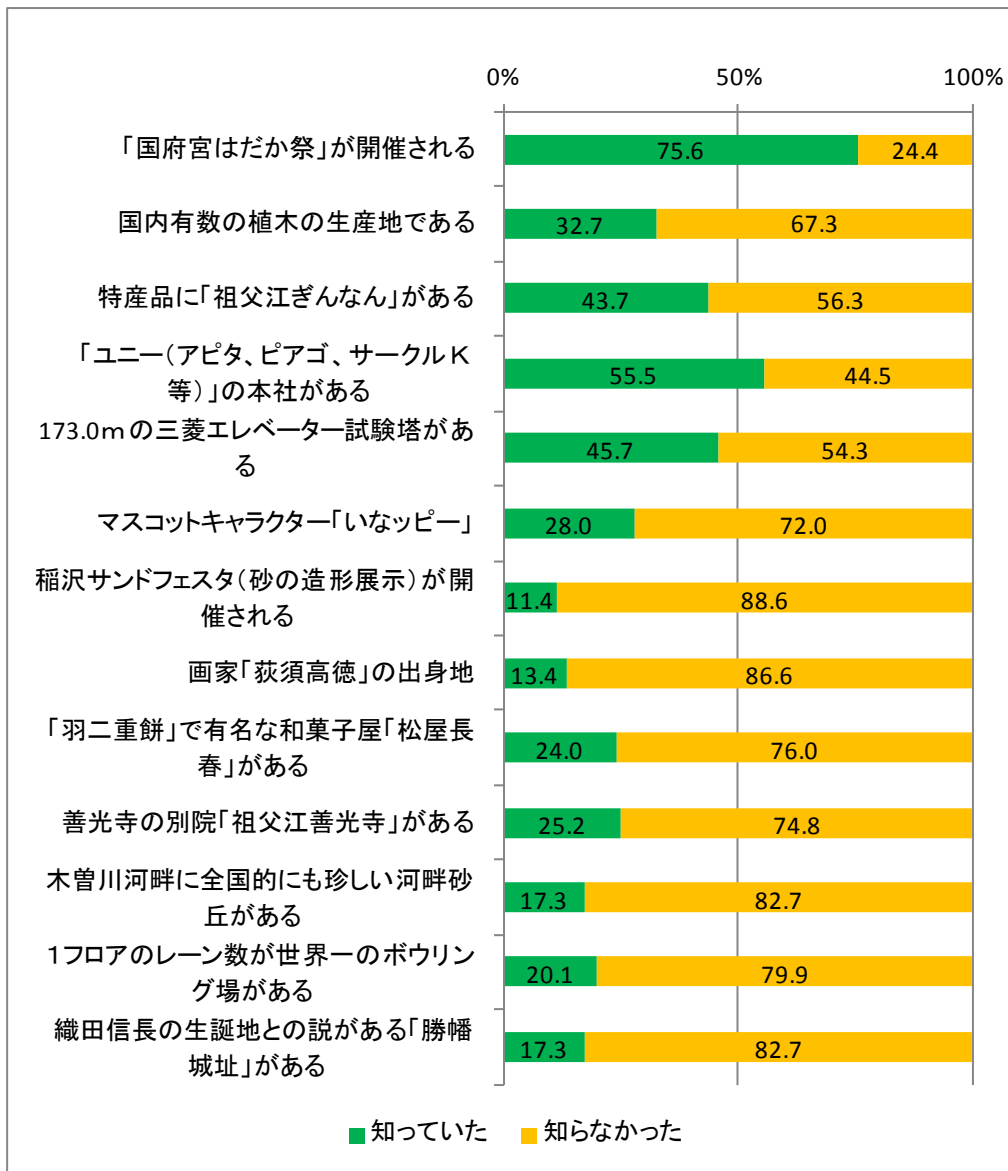
名古屋圏では、首都圏と同様に「『国府宮はだか祭』が開催される」が最も高く、その割合も 75.6% で突出している。また、「『ユニー (アピタ、ピアゴ、サークルK等)』の本社がある (55.5%)」も 5割を超える。この他、「173.0mの三菱エレベーター試験塔がある (45.7%)」や「特産品に『祖父江ぎんなん』がある (43.7%)」が 4割を超えており、産業に関連する資源の認知度が高い。

首都圏



(n=258)

名古屋圏

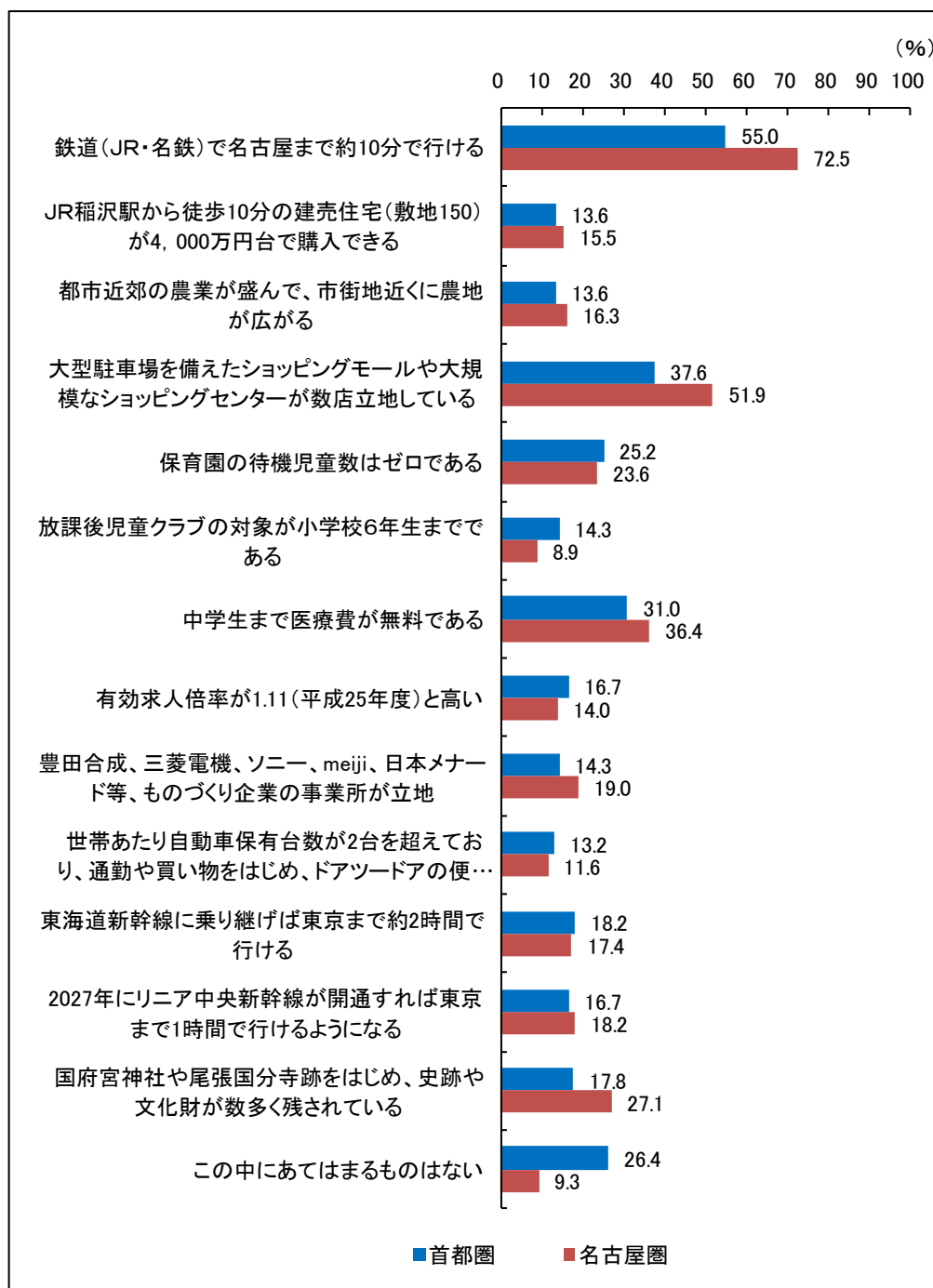


(n=258)

問 8 稲沢市には、以下の特徴があります。この中で魅力的に感じることを選んでください。(MA : 当てはまるものを全て)

首都圏と名古屋圏ともに、「鉄道（JR・名鉄）で名古屋まで約10分で行ける」、「大型駐車場を備えたショッピングモールや大規模なショッピングセンターが数店立地している」、「中学生まで医療費が無料である」が上位3項目となる。

特に、名古屋圏では、「鉄道（JR・名鉄）で名古屋まで約10分で行ける」が72.5%、「大型駐車場を備えたショッピングモールや大規模なショッピングセンターが数店立地している」が51.9%で首都圏を大きく上回り、アクセスや生活の利便性に対して、非常に高い評価を得ている。



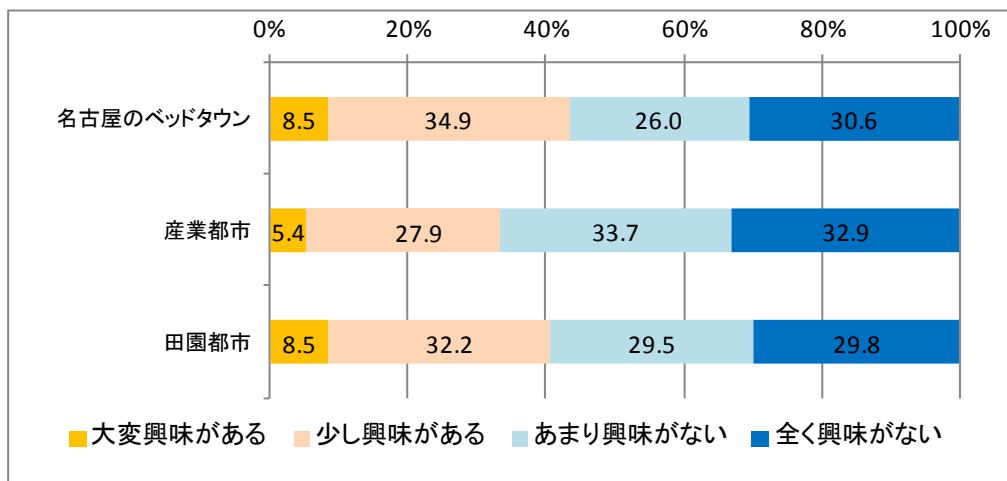
(首都圏：n=258、名古屋圏：n=258)

問9 以下の説明は稲沢市における市民生活を表現したのですが、住み替え先として興味を持てますか。(SA)

首都圏では、「大変興味がある」と「少し興味がある」を合わせた「興味を持てる」割合は、「名古屋のベッドタウン」で43.4%、「田園都市」で40.7%となり、「産業都市」の33.3%をやや上回った。

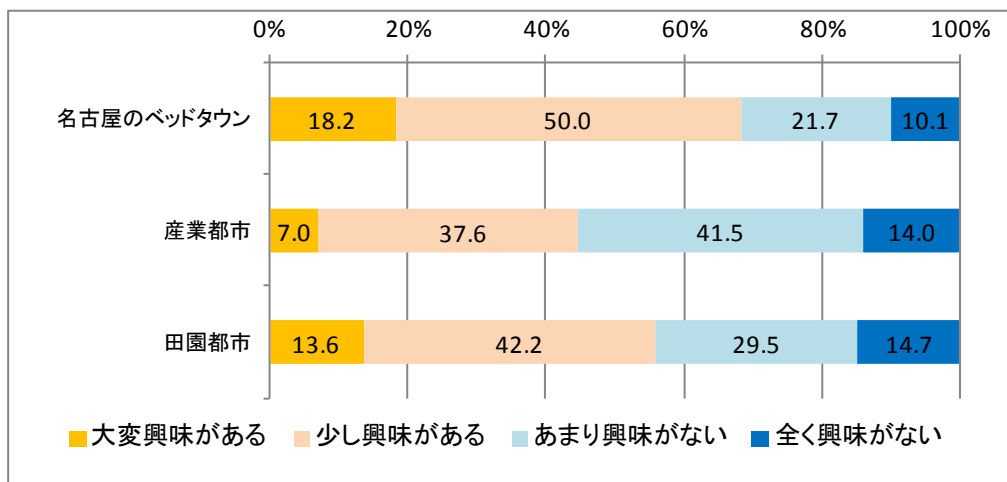
名古屋圏は、首都圏よりも概ね高くなる傾向にあり、特に「名古屋のベッドタウン」で68.2%となり高い評価を得た。また、「田園都市」も55.8%と過半数を占めた。

首都圏



(n=258)

名古屋圏



(n=258)

名古屋のベッドタウン: JR 稲沢駅や名鉄国府宮駅は、名古屋駅まで10分で到着する等、アクセス利便性に優れている。また、尾張大國霊神社「国府宮」の参道など緑豊かで落ち着いた町並み、JR 稲沢操車場跡地に開発された新しい住宅地等、異なった顔を持つ地区が形成されている。

産業都市: 自動車産業をはじめとした国内のものづくり産業をけん引する愛知県の産業都市のひとつとして、大企業から中小企業に至る様々な事業所が立地し、多くの雇用を創出している。

田園都市: 名古屋から20kmあまりの距離にあるにも関わらず、豊かな田園風景が広がる農業都市として発展してきた。最高品質のぎんなん、国内有数の植木の生産地などの特産品を抱え、自然豊かな環境の中で豊かさを実感できる市民生活が営まれている。